

記入見本 氏名、本籍地に変更がある場合

禁げ

記入欄	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	性別	なし	男性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	あり	あり	確認	<input type="checkbox"/>
冊子等	10年	5年	記載変更	発行年月日	交付年月日	旅券番号							

変更後の記載

氏名 (左詰めで記入)

姓

姓 (ローマ字)

ヘボン式ローマ字活字体大文字で記入してください。

所持人自署 (この署名は旅券にそのまま転写されます)

外務省子

性別 男 女

生年 月 日

本籍

変更前の記載

旅券番号

発行年月日 西暦で記入

上記旅券に記載の姓をローマ字、左詰めで記入してください。

この申請書を提出する日の年齢

私は上記番号の旅券と残存有効期間が同一の記載事項変更用一般旅券の発給を希望します。(右欄の口に✓印を必ず記入してください。)

申請する

上記旅券冊子の別 (丸印で囲んでください。)

10年 (えんじ) 5年 (紺)

現住所 〒 16 Nassim Road, Singapore 258390

電話 (6235) 8855

携帯 (9876) 5432

居所で申請する場合は居所も下段に記入してください

〒 電話 ()

電話 ()

日本国内の緊急連絡先

住所 東京都品川区広町2-1

氏名 外務省一 申請者との関係 父 電話 03(3777)1111

※次の各事項に該当しているか否か、□に✓印を記入してください。(本人又は法定代理人が記入してください。)

刑罰関係

1. 外国で入国拒否、退去命令又は処罰されたことがありますか。 はい いいえ

2. 現在日本国法令により起訴され、判決確定前の状態ですか。 はい いいえ

3. 現在日本国法令により、仮釈放、刑の執行停止又は執行猶予の処分を受けていますか。また刑の執行を受けなければならない状態にありますか。 はい いいえ

4. 旅券法違反で有罪となり、判決が確定したことがありますか。 はい いいえ

5. 日本国旅券や渡航書を偽造したり、又は日本国旅券や渡航書として偽造された文書を行使して(未遂を含む)、日本国刑法により、有罪となり、判決が確定したことがありますか。 はい いいえ

6. 国の援助等を必要とする帰国者に関する領事官の職務等に関する法律を適用され外国から帰国したことがありますか。 はい いいえ

外国籍の有無

現在外国の国籍を有していますか。(※該当する枠内に✓印を記入してください)

はい いいえ

「はい」の場合

どの国の国籍ですか。 _____

取得年月日 _____年 _____月 _____日

どのような方法で取得しましたか。

外国籍の父又は母の子として出生

外国での出生

外国人との婚姻又は養子縁組

帰化申請又は国籍取得届出

外務省コード欄 03 13条 10 別名併記 14 歴外確認 0A 別人 0C 解除 0E 職権 0H 特例1 0K 特例3 0N 永住 04 対立地域 11 非ヘボン 15 歴外表示 0B 失効 0D その他訂正 0G 再作成 0J 特例2 0M JICA

官庁コード

出発予定日 平成 年 月 日 ※主要渡航先での滞在期間 3ヶ月未満 3ヶ月以上

※ 次の各項目のいずれかに該当する場合には、該当する項目のに印をつけた上で、下記の渡航目的及び渡航先を記入してください。

- ① 表面の刑罰等関係欄に該当する事項がある場合 ② 旅券の二重発給を受けようとする場合

渡航目的（具体的に）

②の場合は、二重発給が必要な理由も記入

今回の渡航先（渡航先国名と、コード表を参照して国コードを記入してください）

国名	コード
----	-----

旅券面の氏名表記（表面のヘボン式と異なる場合のみローマ字活字体大文字で記入）

(姓)

最大31字まで（別名を含む）

(名)

最大31字まで（別名を含む）

注：旅券面への表記可能な文字は姓・名・スペース合わせて37字（別名併記を除く）までです。記号（、・〜など）や、数字（ⅡⅢなど）等は記載できません。但し、別名併記の（ ）は記載可。

外務大臣殿 平成 年 月 日

在 大使 総領事 殿

この申請書の記載は事実に相違なく、旅券法第3条の規定により、記載事項変更用の一般旅券の発給を申請します。この申請書に記入した氏名の表記を今後変更しないことを誓います。

申請者署名

外務 省子

（署名は必ず本人が戸籍に記載のとおり、かじ書体で行ってください（署名が困難な場合を除く）。また、申請者が未成年者又は成年被後見人の場合は、法定代理人の署名も併せて必要です。なお、署名が困難な場合であって、法定代理人でない者が記名する場合には、その者の氏名も記名してください。本人確認のために印鑑登録証明書を使用する場合は、押印が必要です。）

法定代理人（親権者、後見人など）署名

- 本人確認欄 (1点でよい書類) 日本国旅券 運転免許証 住基カード(写真付き) 船員手帳 海技免状 猟銃所持許可証 戦傷病者手帳 宅建取引主任者証 電気工事士免状 無線従事者免許証 官公庁職員身分証明書 身体障害者手帳 (偽造防止、写真付き) (2点必要な書類) 健康保険証 国民健康保険証 船員保険証 共済組合員証 年金証書等 介護保険証 印鑑登録証明書及び実印 後期高齢者医療被保険者証 その他写真付きの身分証明書 (学生証、社員証、公的な資格証明書など) 一時帰国者

- 官公庁記載欄 本人 代理 非ヘボン 別名併記 長音表記 疎明資料名 () 理由 () 氏名 本籍 性別 生年月日

申請書類等提出委任申出書

（法定代理人が申請者に代わって申請書類などを提出する場合には、本様式の提出は不要です）

私は旅券法第3条第4項の規定に基づき、下記の引受人を通じて旅券申請書類等を提出いたしたく、申し出ます。

平成 年 月 日

申請者署名

引受人氏名

申請者との関係

引受人住所

私は本件申請に係る必要書類等を申請者に代わり提出することを引き受けました。私が提出する申請者の所持人自署及び申請者署名は本人自筆のもの（又は適正な記名）であること及び写真は本人のものに相違ないことを確認します。私は、過去5年間、旅券の不正取得に係わったことはありません。

平成 年 月 日

連絡先電話番号 ()

引受人署名

生年月日 明治・大正・昭和・平成 年 月 日

- 注意事項 1. 申請者の指定した者が、代わりに申請書類などを提出する場合には、提出者本人を確認するに足る書類等を提示（出）してください。 2. この申請による旅券取得が日本国法令の罰則に該当する場合、申請者に代わって必要書類などを提出した者も罰せられることがあります。 3. 署名は必ず本人が行ってください。（署名が困難な場合を除く）。なお、署名が困難な場合であって法定代理人でない者が記名する場合には、その者の氏名も記名してください。

申請に必要な書類等（住基ネット未加入の市町村の住民の方等、住民票の写しが必要な場合があります。）
一、戸籍簿（抄）本 一通（変更を生じたことが確認できる作成日から六ヶ月を経過しないもの）
二、写真 二葉
三、今回記載事項の変更を必要とする有効な旅券
四、その他特に必要とされる書類

（平成二十六年三月改正）

（平成二十一年六月改正）

（裏面）

この欄も忘れずに記入してください。

申請者以外の方が申請書類等を提出する場合には、この様式も忘れずに記入してください。

点線より上の欄は申請者本人が記入してください。